

絶対評価のはずが相対評価に!?

現在、職場にて最終フィードバックが行なわれて評価が出されていますが、青年部員のチェックにより分かったことが『AAやBA評価に枠がある』ということでした。絶対評価であれば枠なんてものはないはずなのに、なぜそんな言葉が出てくるのか。この問題発言が各職場で上がってきて「相対評価になっているのでは？」と多くの青年部員が不安を抱えていたので中央本部も問題意識を持って7月31日に団体交渉を行ってきました。

評価は『絶対評価』と、労使で確認してきたにも関わらず、絶対評価に対して認識にズレがあることが発覚しました。中央本部は、「労使で確認してきた評価」ではない事を訴え、改めて協議をすることを確認しました。

相対評価なんてものは断じて認めない!!

今回、各地本のチェック体制による職場からの報告があり、この問題を知ることができました。会社は評価者研修を行っていますが、評価者はそこで一体何を学んできたのでしょうか。このままでは会社の言う「生き生き伸び伸びとやりがいをもって」なんてのは夢のまた夢なのではないでしょうか。こんな評価制度では、モチベーションは一切上がらない!

本当の意味で『生き生き伸び伸び』となれる制度と

するために青年部はこれからも闘っていく!!